

令和6年度 「全国少年消防クラブ交流大会」の開催

総務省消防庁地域防災室

1 はじめに

全国少年消防クラブ交流大会を9月14日、15日の2日間、兵庫県神戸市で開催しました。同大会は、将来の地域防災の担い手育成を図るため、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他の地域のクラブ員との親交を深めるとともに、災害の教訓や備え等について学ぶことを目的に、平成24年度から実施しています。

【少年消防クラブとは】 少年少女が防火及び防災について学習するための組織であり、日頃、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会などに取り組んでいます。全国に4,106のクラブがあり、約39万人のクラブ員が活動をしています（令和5年5月1日）。

2 交流会【1日目】

交流会では、消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室福西室長による開会の挨拶に続いて、兵庫県齋藤知事、神戸市久元市長から



～共催者挨拶～
兵庫県 齋藤 元彦 知事



～共催者挨拶～
神戸市 久元 喜造 市長



も激励の挨拶をいただきました。

オリエンテーションに続いて行ったクラブ紹介では、全60クラブがさまざまな手法でクラブや地域の特色を伝える演出をするなど趣向を凝らして魅力をアピールしました。

また、交流会開始前には、大会に参加するクラブ員のために、兵庫県・神戸市主催の「防災キャンパス」が開催されました。仮想空間の中で、水害現場等を体験できるVRコーナーや消防団員による阪神・淡路大震災当時の話を聞くコーナー、災害食を試食できるコーナーなど、クラブ員は7つのブースを体験しました。



3 合同訓練【2日目】

合同訓練では、始めに埼玉県の団体メンバーが、「神戸の地で出会った全国の仲間との絆が、輝く未来に繋がるよう、正々堂々、競技に挑戦することを誓います」と宣誓しました。

競技は、消防ホースの筒先をバトンとし、水消火器の放水やホースの延長などの課題をクリアしていく「クラブ対抗リレー」と、ホースの結合やロープの結索などをつつ、ホースを伸ばしながら進む「クラブ対抗障害物競走」の2種目で、それぞれかかった時間を競いました。



参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、練習の成果が発揮できるよう一生懸命取り組んでいました。

【合同訓練の結果】

第1位	三郷市少年消防クラブ（埼玉県）
第2位	志津川中学校少年防災クラブ（宮城県）
第3位	吉川松伏少年消防クラブ（埼玉県）
第4位	府中町少年少女消防クラブ（広島県）
第5位	鷹匠中学校防災ジュニア（兵庫県）



三郷市少年消防クラブ



志津川中学校少年防災クラブ



吉川松伏少年消防クラブ



府中町少年少女消防クラブ



鷹匠中学校防災ジュニア

4 おわりに

閉会式では、兵庫県内4団体のクラブの代表から「この合同訓練を通じて得た経験とチームワークを大切に、地域防災の担い手となるよう、これからも頑張っていきます」と力強い決意表明がありました。

交流大会に参加したクラブ員の皆さんには、交流大会での体験を活かし、今後の活動に更に励んでいただき、家庭や学校又は地域で、学んだことを共有し、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしてご活躍されることを期待しています。

最後に、ご協力いただきました関係者の皆さま、本当にありがとうございました。